

令和5年度 第4回 浜松市立西都台小学校運営協議会 会議録（要点記録）

1. 開催日時 令和5年12月13日（水）午後1時10分～午後3時10分
2. 開催場所 西都台小学校 2階 研修室
3. 出席委員 竹山慎太良、野島治代、鈴木正慶、竹村義秀、吉野好永、松下正行、田澤健司、寺田茂紀、明戸良美、坂下奈生子
4. 欠席委員 なし
5. 学 校 井口幸英（校長）、藤井早苗（教頭）、伊藤啓太（教務主任）、和久田里恵（CS ディレクター）
6. 教育委員会 牧野知子（教育総務課）
7. 傍聴者 1人
8. 協議事項 （1）西都台小として大切にしていってほしいこと。
（2）来年度より、新しく取り組みたいことへの御意見。
9. 会議録作成者 CS ディレクター 和久田里恵
10. 会議記録

司会の藤井から、委員総数の過半数の出席があるため、会議が成立している旨の報告があった。今回の熟議の議長は会長の竹山委員が立候補し、全員異議なくこれを承認した。熟議について校長から、別紙資料に基づき学校経営方針について説明をし、委員からは以下の発言があった。

（1）西都台小として大切にしていってほしいこと。

① 学校教育目標「たくましく【主体性】しなやかに【協働性】」

竹のように「たくましく しなやかに」成長してほしいという願いが受け継がれた言葉。

なりたい自分を目指し、やりたいことを見つけて主体的に自分らしく生きてほしいという願い。

② 目指す子供像及び重点施策である合言葉「やる気・元気・根気」

子供に分かりやすい合言葉と具体的な子供像を検討していきたいので意見がほしい。

- 自分が子供時代から「やる気・元気・根気」だった。ぼんやりしていて抽象的ではあるが、いろいろな解釈ができるし、言葉を一気に変えなくてもいいのではないか。（竹山委員）
- 自分の子供が「やる気」の目標って何を書けばいいのかわからないと言っていた。ぼんやりと決めた目標だから、その後の自己評価も達成感が低かった時もあった。大谷翔平の目標達成シートのようなものを具体的に書くことが大事だと思う。（坂下委員）
- 西都台の卒業生と話していると学校の伝統に愛着を感じる。新しい言葉に変えるなら、6年生にアイデアを募って決めれば、自分たちの世代で変えたんだという思いを持てると思う。（坂下委員）
- 私達の時代には合っていたが今の子供たちが、この言葉でやるぞと思うのかは疑問。言葉を変えるなら今の時代に合ったものを。（明戸委員）
- 言葉としてはこのままでいいと思う。ただ、低・中・高学年で理解の仕方が違うと思うので、各学年や担任にて、その年代にあった説明をしていくことが大事。（鈴木委員）
- この言葉に意味付けをしなくても、学校生活を通して夢を見つけてほしい。そのための環境を作る活動をすることが一番だと思う。（竹村委員）
- この言葉が心に残っているので、言葉の意味をかみ砕くのは先生にお願いしたい。（野島委員）

- 「やる気・元気・根気」の言葉自体はいい言葉だから変えなくてもいいと思う。学年ごとに説明を変えれば伝わるのではないか。(吉野委員)
 - 「たくましく しなやかに」も竹をイメージでき、とてもいい言葉。自然体験を通して、様々な体験をしてほしい。その過程で先生がほめてくれる、話を聞いてくれる、否定されず認めてくれるということが大事。(吉野委員)
 - 変える必要はないのではないか。在校時に言葉の意味がわからなくても、卒業後に気付けば十分。この言葉を先生がしっかり理解し、それぞれの状況で「これが根気なんだよ」というふうに、子供たちに個別の場面で直接伝えたほうが理解できる。それが「個」を大事にする教育。(田澤委員)
 - 6年生にアンケートを取るのはいいい考えだと思う。合言葉はそのままにして、わかりやすいサブタイトルを子供たちで作るといいのでは。(松下委員)
 - 正直、自分が子供時代には何も気にしていなかった。親になってみると、こういう子になってほしいと思うので、親が理解していけるように情報を発信していくことが大事。(寺田委員)
 - この合言葉が、昔からどうしてこれになったのかを、学校・子供たちで探してもらったら面白いし、意識が強くなるのでは。(竹山委員)
- ⇒皆さんの意見を聞いて、大事にしてきた合言葉なんだと改めて思った。この言葉を消すことなく、よりよくなる方法を教育課程編成会議にて考えたい。(校長)

③ 行事の在り方、開催時期について（令和6年度より変更予定）

運動会 11/16（土）…熱中症が軽減される季節に。

林間学校 7/2-3 修学旅行 10/10-11 学習発表会 2月…運動会実施時期変更に伴い変更。

★子供たちが何をやりたいかを考え、自分たちの力で魅力ある行事を創ってほしい！

- 1学期のうちに林間学校があるのは、早いうちにクラスが一致団結していいと思う。(坂下委員)
 - 秋の運動会なら、昔のように自分たちで考えたダンスをおどったりできるし、練習も落ち着いてできるのいいと思う。(明戸委員)
 - 2月の学習発表会ならまとめてから次の学年にいけるのでとてもいいと思う。(吉野委員)
 - 10月10日金曜夜から地元の祭りの前夜祭があるので、行けないこともないが楽しみにしている人もいると思うので少し考慮していただくとうれしい。(寺田委員)
- ⇒祭りの日程も考えて次からは予定を組みたい。その他①②③の項目でいただいた意見も参考にして教員にて話し合いを進め、2月の運営協議会では結果を報告できると思う。(校長)

(2) 来年度より、新しく取り組みたいことへの御意見。

① 主体的・協働的な活動 委員会活動・学級活動

大人に与えられた枠の中で学校生活を送るのではなく、子供たちがやりたいことを考えて、企画して主体的に活動する楽しさを感じてほしい。

② 生活科、総合的な学習の時間の指導の在り方 キッズチャレンジビジネス始動

1年生の頃から探求的な学びを積み上げ、6年生になったときに学びの成果を発信する場としてイオンにて、学びの成果の発信や竹細工等の販売活動に挑戦したい。

- 6年生になったときに楽しみにしていたけどやれなかったということがないように、5年生のうちから6年生になったら何をやりたいかを話し合い、準備を進めるといいと思う。(坂下委員)

- イベントの企画・運営は中学生でも難しい。役割分担をしっかりとすること。うまくいかなかったとしても自分でやったことは記憶に残るのでいい思い出になると思う。(竹山委員)
- 自分の子供が昔からこのやり方だからというやり方で委員会活動をしていた。より良くなるように変えていく話し合いも必要。(明戸委員)
- ある程度は先生が箱を作るのは仕方ない。その中で子供たちが主体的に考え、のびのびやっていたらいい。(鈴木委員)
- 昔、うさぎや鳥、鯉を飼っていたように動物を飼うことはいい経験になる。池を整備して、かめを池に放して世話をするのは、他の動物を飼うより容易だと思う。(竹村委員)
- 希望者が田んぼにて田植え・稲刈りを行い、レポートを書くのもいい。(竹村委員)
- イベント活動が得意な子もいれば苦手な子もいる。どんな子も1人1役あるといい。(吉野委員)
- イベントをやり遂げる課程が大事。疑似社会性を体験できる。是非やってほしい。(田澤委員)
- 昔は外で自分で考えた遊びをしていた。どんどん子供たちにアイデアを出してほしい。(松下委員)
- 総合学習にて、1年と3年の竹の活動のように共通点を見付けて、異学年の交流を持ってほしい。(寺田委員)
- 日本の教育において販売となると少し抵抗がある気もするが、お金のやりとりは大事。(竹山委員)
- ふるさと夏まつりの模擬店を利用するのはどうか。(寺田委員)
- 入野小では入野協働センターの福祉まつりを利用している。店に抵抗があるなら地域のイベントを利用するのもいいと思う。(吉野委員)
- コミュニケーション力を高めるのに販売活動は有効。(田澤委員)
- 大人になっても自分で大きな声で「いらっしやいませ」を言うのは勇気がいる。子供時代にできたら、とてもいい経験になる。(坂下委員)

③ 自立登校（試行期間 11/27-12/2 を経て）実施に向けて

自立登校試行後のアンケート調査結果を校長より説明した。

学校に7時40分～7時50分の時間帯に着くように言っているが、7時30分頃にたくさんの子が来てしまう。旗振りの時間帯に影響が出る。

今後も自立登校の試行→改善を繰り返していきたい。

- 自立登校への不安があったのはどの学年か。(明戸委員)
 - 交通ルールを守れなかった2%の内容を教えてほしい。(竹山委員)
- ⇒アンケート結果の内容を精査して後日お知らせする。(学校)

その他報告事項

(PTA 寺田委員より)

- 「竖穴住居の葺き替え作業」の地域ボランティアも集まり、若干、進捗が遅れているが進んでいる。
- 今後のPTAイベントとして「ドッジボール大会」があるので、見学・応援をお願いしたい。

(学校支援コーディネーター 坂下委員より)

- 「竹っ子サポーター」募集を行い、まずは保護者3名が集まった。
- どういう内容のボランティアが必要か先生方とのコミュニケーションがうまくとれるように「授業確認書」を作成した。

- 12月11、12日に初めてのCSイベントとして「クリスマスカード作り」を開催した。課題はいろいろあったが、とても楽しくできた。

(いじめ防止等の基本的な方針・学校評価アンケートについて 教務主任 伊藤より)

- いじめ1学期9件、2学期9件で重大ないじめはなく、早期発見できていた。
- 今後は市教委主導で行うタブレット端末を使ったアンケートを行い、いじめ見逃しゼロに取り組んでいく。
- 学校評価アンケートについては別紙にて説明。

司会から、次回会議は、令和6年2月21日(水)午後1時10分から西都台小学校2階研修室で、開催する旨の報告があった。